日本共産党
那覇市会議員 上原やすお
ニュース
2025年6月22日 NO.123号
事務所 TEL853－2448
携帯 080-1710-2965
発行：日本共産党 上原やすお 事務所　那覇市寄宮2-6-11

非課税の高齢者に20枚の お米券の配布と 低所得のひとり親世帯の 児童1人あたり1万円

ようやく、始まる市の物価高騰への支援！

党市議団の申し入れと市民の声が市政を動かす！

党市議団は、市民の願いにこたえた もっと大規模な支援を求めて頑張ります

異常なコメの値上がり等、物価高から市民の命と暮らしを守る。今回の参議院選、那覇市議選の大きな争点です。党市議団が行っている市民アンケートには7割の方が暮らしが悪くなった、助けてほしいと悲鳴を上げています。党市議団は、知念那覇市政が当初予算にも、開会中の6月議会にも物価対策がひとつもないことを指摘、4月1日に物価対策の申し入れも行い、お米券の配布等、実施を強く求めてきました。

市は、ようやく補正予算を組んで、非課税の高齢者にお米券20枚の配布と児童扶養手当受給世帯の児童1人あたり一万円の給付を行います。

しかし、お米券対象の非課税の高齢者は14900人で那覇市の高齢者の約2割のみ、一万円給付の児童は、7500人は那覇市の子どもの一割に過ぎません。物価対策の一歩でありながら、あまりに遅きに失していること、物価高に苦しむすべての市民を対象にしていないことなど、物価高対策として規模と内容が不十分です。

那覇市の予算は1871億円と過去最大で税収は前年より39億円も増えています。貯めこんだお金は130億円もあります。今、那覇市にないのはお金ではありません、ないのは市民の苦しみに寄り添い、市民のくらしと営業を守り支援する心ではないでしょうか。

党市議団は、全世帯へのお米券の配布をはじめ、さらなる支援を求め頑張ります。物価高から命と暮らしを守る政治の実現に力をあわせましょう。

お米券もらえるのは、介護保険 所得段階の4と5段階のみ、約14900人

※那覇市のわずか2割の高齢者のみ

第1段階	生活保護受給者、 世帯全員が市町村民税非課税で（介護保険料月額1960円）	× 今回、もらえない
第2段階	世帯全員が市町村民税（介護保険料月額3335円）	× 今回、もらえない
第3段階	世帯全員が市町村民税（介護保険料月額4711円）	× 今回、もらえない
第4段階	本人が市町村民税非課税（介護保険料月額6189円）	○今回、もらえる
第5段階	本人が市町村民税非課税（介護保険料月額6876円）	○今回、もらえる
第6段階	本人が市町村民税課税（介護保険料7702円）	× 今回、もらえない